

「板柳町立統合小学校改修基本計画（案）」及び「板柳町立統合小学校改修計画（案）概要版」に関するパブリックコメント（意見募集）結果の公表

町が実施しました「板柳町立統合小学校改修基本計画」（案）の策定に当たってのパブリックコメント（意見募集）に対し、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

いただいた意見の概要とそれに対する町の考え方は下記のとおりです。

記

1 意見募集期間

令和6年4月19日から令和6年5月20日まで

2 募集方法

町のホームページに案の概要等を掲載し、教育委員会学務課に備え付けました。

意見提出は直接持参、郵送、FAX、電子メールのいずれかの方法によることとし、提出者の氏名・住所の明記を条件としました。

3 提出された意見

14人（個人）の方から述べ44件の意見等をいただきました。

同趣旨意見等を集約し、本案に関係のない意見等を除くと、37件に整理されます。

「板柳町立統合小学校改修基本計画（案）」及び「板柳町立統合小学校改修計画（案）概要版」に対して提出されたパブリックコメントの内容と町の考え方

◆対応区分

- ①反映：意見や提案内容を本計画案に反映させていただくもの
- ②反映済：意見や提案内容が既に本案に反映されているもの
- ③参考にする：意見や提案内容を今後における取り組みのための参考とさせていただくもの
- ④反映又は参考にするものが難しいもの：

町の考え方や施策の取組方向等と異なるもの、事業主体が町以外のもの、法令等により町として対応できないもの 等

- ⑤その他：①～④に当てはまらないもの

◆お寄せいただいた意見等の取扱い

- ・今回のパブリックコメントと関連しない意見等が提出されている場合、その意見等については公表していません。
- ・意見等を公表することにより、個人または団体等の権利、競争上の地位その他正当な利益が害される恐れがある場合、その全部又は一部を削除しています。
- ・意見等の中に誹謗・中傷等、差別的あるいは差別を助長するおそれがある表現が含まれている場合、置き換え等の加筆修正や削除をしています。
- ・類似の意見等が提出されている場合、適宜整理のうえまとめて公表しています。

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
1-1	意見	<p>小中連携教育の具体的取組イメージを、準備委員会設置前に、改修基本計画に少しでも盛り込むべきと考えます。</p> <p>具体的取組例</p> <p>1 英語教育において、板中英語担当教員が小学生に向けて、ウェブ会議によるオンライン授業を実施する。</p> <p>2 部活動の地域移行において、旧板高体育施設を活用した、部活動（クラブ活動）の小中合同練習を実施する。</p>	③	<p>「板柳町立統合小学校改修基本計画（案）」及び「板柳町立統合小学校改修計画（案）概要版」についてはあくまでも校舎の改修にかかる計画であるため、教育方針については記載しませんが、いただいたご意見については今後設置される予定であります統合準備委員会において参考にさせていただきます。</p>
	理由	<p>ハード面が充実しても問われるのは中身です。小中が隣接していなくても、充実した小中連携教育が可能であることを、具体的取組イメージで町民に示すことが重要と考えます。</p> <p>具体的取組例の説明</p> <p>1 板中生の英語の学力は、現在県平均、西北平均よりも劣っています。グローバル社会の中で、小学校から中学校に体系的につながる充実した英語力を身につけることが必要です。ウェブ会議が可能になれば、小学生が英語検定3級以上を目指す際、板中教員による面接試験（スピーキング）対策の指導も受けられるようになります。</p> <p>2 部活動が完全に地域移行した場合、脆弱な地域の受皿を可能とする方法として、効率的な取組をすることが必要です。その方法として、旧板高の体育施設を活用した、小中合同の部活動を実施（毎回でなくてもよい。）することは対外的にもインパクトがあると考えます。</p>		
1-2	意見	<p>長寿命化改修工事を進めるに当たり、考えられるリスクを専門家（一級建築士、弁護士等）の意見をもとに洗い出し、リスクマネジメントを行う必要があると考えます。</p>	③	<p>ご意見を参考にさせていただきます。改修工事の設計段階において受託業者と綿密に打ち合わせを行います。</p>
	理由	<p>例えば、隠れた瑕疵が発見され、追加工事が必要となった場合、アスベストの発じん性が当初の調査より高くなり、レベル3からレベル2に上がった場合、どのような問題が生じ、どのような（法的）対策が必要になるのか、町民への説明の在り方を含めて事前に準備することが、改修工事が順調に進むことにつながると考えます。</p>		
1-3	意見	<p>工事期間中、北小と南小の児童が、北小校舎と一緒に学ぶことによる、小阿弥小、東小児童の不利益の解消を図るべきと考えます。</p>	③	<p>小学校の統合が行われたあと、児童の学習環境や生活環境が大きく変化することから、新たな学校生活に円滑に移行できるよう、様々な場面において、児童生徒の環境変化への配慮が必要であると考えています。また、統合前にも各小学校間の児童の交流が図られるよう交流事業を実施します。</p> <p>また、いただいたご意見については今後設置される予定であります統合準備委員会において参考にさせていただきます。</p>
	理由	<p>本来、統合により、同時期にヨーイドンで4校の児童と一緒に学び始めることにより、より大きな統合の効果が得られるものと考えます。多人数の北小、南小の児童の中に、遅れて小阿弥小、東小の児童が入ることの不利益は大きいです。私も、板小時代、3年生になってから、野中分校の児童が転入した際、仲間に溶け込めないでいる数名の児童がいたことを覚えています。そういう不利益が生じない方策を併せて示すべきだと考えます。</p>		

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
1-4	意見	<p>基本計画（案）の内容について 第1章の基本構想中、「統合小として南小を選定した最も重要と考えるのは、南小が4つの小学校の中で、学校に近い距離に住んでいる児童が最も多いことである。南小の近くには多くの町民が住んでおり、今後も継続して、域内に住む児童が多いことが期待される。」との趣旨の表現は適切でないと考えます。ほかにも、第1章の基本構想、第5章の基本方針は、基本計画の柱となる重要な部分ですが、抽象的な表現が多く、もう少し具体的な表現を取り入れた方がわかりやすいです。 また、改修の柱となる「長寿命化改修工事」とは、どういう工事なのか、計画書の中で分かりやすく解説すべきと考えます。</p>	①	<p>決して板柳南小学校付近以外の地域における児童（人口）の減少を容認するというものではありません。各地域で同じ比率で児童数が減少することを想定すると、徒歩で通学可能な児童が今後も継続して南小の周囲に多いことが期待されるという意味で記載しました。文章の表現については、ご指摘を参考に改めます。 ご意見にあります板柳中学校が町の中心位置に選定されたコンセプトについてですが、当時は徒歩もしくは自転車での通学が大多数だったため、町の中心位置に建設する必要がありました。現在はスクールバスの運行も考えておりますので、コンセプトの違いについては登下校環境・手段の違いであると捉えております。 長寿命化改修工事の内容につきましては今後基本設計・実施設計を行うため、ある程度の方針が定まり次第、また町民の皆様へ周知したいと考えております。</p>
1-5	理由	<p>統合小として南小を選定した最も重要と考える部分の表現からは、今後急激な人口減少が予想される中で、統合小を南小に選定することにより、南小の近くの文京町や田中錦町に住む児童（人口）が多くなることが期待されるが、それ以外の地域（特に小阿弥地区、沿川地区）は児童（人口）が減少しても仕方ないと誤解される恐れはないでしょうか。また、統合小を南小に選定したコンセプトと板中が町の中心位置に選定されたコンセプトの整合性が取れない点をどのように説明するのでしょうか。 基本計画書は、町民が読んで、分かりやすくイメージが湧く内容にすべきです。長寿命化改修工事について、概要版のイメージを見ても分かりにくいです。</p>	③	<p>小学校を統合し、1校に児童が集まることから、送迎車両等の混雑が予想されます。その対策として、国道339号と町道とのT字路交差点に感应式信号機を設置していただくよう、弘前警察署と協議を進めております。 ご指摘のとおり、新たに信号機を設置することで交通の変化が生じることが予想されることから、関係各所との協議を行います。</p>
1-6	意見	<p>児童クラブを南小敷地内に建設することによる、小阿弥地区、沿川地区の保護者の不利益の解消策を検討すべきと考えます。</p>	③	<p>学校からの移動も含めて、安心安全な環境で児童クラブを利用してもらいたいと考えて、学校の敷地内に建設することとしました。 遠距離の地区の保護者の皆様にご負担をおかけすることは、大変申し訳なく思いますが、現在各小学校に設置されている児童クラブが一つになって新設されることで、児童の活動がより活発化するなどの効果が期待されるものと考えます。また、各校の児童クラブの管理に係る予算を削減することも可能ですので、削減した分の予算を有効に活用し、保護者の方の負担軽減につながる支援を検討いたします。</p>
1-6	理由	<p>これまで、小阿弥小、東小で児童クラブを利用していた保護者が、南小に建設した児童クラブに入ることにより、迎えの時間が多くかかります。児童の迎えは祖父母が担っている例も多いと聞いています。そのような不利益を少しでも解消する方策を検討する必要があると考えます。</p>		

整理 番号	提出されたご意見	対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
2-1	<p>統合に向けて、まずは、板柳北と板柳南との統合を先行させ、改修工事終了後に3校を統合しての開校になるようであるが、令和8年3月31日で4校同時閉校、令和8年4月1日新統合小学校開校。その時点では、現在の板柳南小学校の改修工事が完了していないことからそれぞれの名称を次のとおりとする。</p> <p>意見 板柳小学校（仮称）板柳北校舎 板柳小学校（仮称）小阿弥校舎 板柳小学校（仮称）板柳東校舎</p> <p>それぞれの学校に対しては、児童はもちろんのこと学区民にとって強い思い入れがある。それが理屈ではない難しさがある。一番の難関は、板柳南小学校を板柳北小学校へ統合させることであろうと思われる。</p> <p>昭和59年3月、板柳小学校を2分割し、それぞれが中核になって、その年の4月、板柳南小学校、板柳北小学校として開校。以来40年間よきライバルとして学校運営に工夫を凝らし存在してきたのである。</p> <p>統合にあたっては、可能な限り「不平等感」を抱かせることをしない、言いかえれば、「対等」な感情を相互に持てるようにすることであろう。板柳南小学校区の児童が板柳北小学校校舎に通学するようになった時、校章は、校歌は、トレーニングシャツは、どうなっていくのであろう。それらのことで、合意を形成するまでには、多くの時間が必要になる。</p> <p>そこで参考にしていただきたいのが、昭和39年頃の統合板柳中学校開校に向けての歩みである。以下は「板柳中学校沿革史」からの抜粋である。</p> <p>昭和40年2月3日 第3回臨時議会において統合することが議決</p> <p>理由 昭和40年4月1日以降、校名を板柳町立板柳中学校と称し、旧中学校をそれぞれ板柳町立板柳中学校板柳校舎、同小阿弥校舎、同沿川校舎、同畑岡校舎と仮称して統合中学校が発足したものである。</p> <p>昭和41年3月15日 地鎮祭 昭和42年6月30日 竣工 昭和42年7月25日 引き渡し 昭和42年7月28日 新校舎への移転開始 昭和42年8月10日 落成式 昭和40年4月1日 校章制定 昭和42年7月21日 校歌制定</p> <p>なお、校歌が制定になるまでの間は、「一粒の種」を4校で歌うことで統合への気運を盛り上げていったということである。</p> <p>今から60年前のすばらしい取り組みに学び、統合小学校の早期実現をめざしたいものである。</p>	③	<p>ご意見のように、南小学校改修工事完成前に統合小学校を開校し、各学校の名称を変えるのは難しいと考えております。</p> <p>現在の小学校の名称を変更すると、教職員の組織の編成や管理職の配置（校長が1名となるなど）、学年主任などの取扱い、まず本校・分校と整理するかどうかなどの問題が多数あります。</p> <p>板柳南小学校の児童や保護者の皆様には大変な不便をおかけすることは重々承知しておりますが、現在の方針としては南小学校の長寿命化改修の際は南小学校の児童は北小学校に北小学校の児童として通うこととなります。</p> <p>これは、統合時まで現在の学校環境をできるだけ維持し、児童・保護者・先生方の負担を減らすことを狙いとしています。</p> <p>令和10年4月の開校まで、交流などを通じて統合の機運を盛り上げていきたいと考えております。その際には児童・保護者の皆様へのバックアップは全力で取り組みたいと考えております。</p>

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
2-2	意見	<p>板柳南小学校前への学童クラブのための児童館（仮称）新築を取りやめ、現在の学区毎に既存の施設を活用してクラブハウスにするものである。具体的には、板柳南小学校学区では板柳公民館を旧板柳高校校舎への移転を早期に実現させ、これまでの板柳公民館の建物か板柳高校校舎の一部を学童クラブハウスとする。板柳北小学区、小阿弥小学校区、板柳東小学区は、当面の間、これまで通り、校舎の一部をクラブハウスとする。</p>	④	<p>板柳北小学校、小阿弥小学校、板柳南小学校においては築40年以上を迎え、建物も老朽化が進んでおります。児童が安心・安全に学童クラブとして利用するためには、学童クラブに係る教室だけではなく、施設全体の大規模な改修が必要となると思われます。また、維持管理も必要になります。そのため既存の校舎をそのまま学童クラブとして使用することは難しいと考えております。</p> <p>遠距離の地区の保護者の皆様にご負担をおかけすることは、大変申し訳なく思いますが、現在各小学校に設置されている学童クラブが一つになって新設されることで、児童の活動がより活発化するなどの効果が期待されるものと考えます。また、各校の学童クラブの管理に係る予算を削減することも可能ですので、削減した分の予算を有効に活用し、保護者の方の負担軽減につながる支援を検討いたします。</p>
理由	<p>現町政を支持する理由として、持続可能を宗（旨）としていることに魅力を感じているからである。</p> <p>さて、人口減が続く中で、どの自治体もそれぞれの住み易さを打ち出そうと懸命である。さまざまな支援を創出してはその宣伝を競い合っている観すらある。</p> <p>「子育て支援」の観点から改修計画（案）概要版を見た時、児童館新築で学童クラブの運営は利便性の低下の評価を受けることは必至である。例えば、五林平地区の児童が学童クラブを利用するとすれば保護者はこれまでの何倍かの距離を「お迎え」に来なければならない。特に冬期間の保護者の負担は大変なものとなる。</p> <p>保護者の就労機会を確保するような学童クラブであるためには、現状維持があるべき姿と考え、提起させていただくものである。</p>			
3-1	意見	<p>板柳南小学校を利用した統合小学校の改修計画を、町内の有識者等による検討委員会で議論する必要があるのではないか。</p>	⑤	<p>既存施設を利活用した小学校統合の方針については、教育委員会と町長の意見交換、教育委員会定例会及び板柳町総合教育会議の場において審議、協議しております。</p> <p>そのほか住民説明会も開催し、広く住民の皆様から意見をいただいております。その意見もできる限り取り入れた改修計画としております。また、令和3年度から令和4年度に設置された統合整備審議会でも審議され、答申された内容につきましては、新築以外の部分については生かしながら検討を進めていきたいと考えております。</p> <p>改築費については現町政において数億円程度を予定していると説明したことはございません。また、社会情勢による物価の高騰や人件費の高騰など様々な要因を含んでおりますので、板柳中学校の改築費と比較することは困難と考えております。</p>
理由	<p>統合小学校の建設は、過去に設置された検討委員会で、板柳中学校敷地内に新築することで、報告されております。</p> <p>板柳南小学校を利用した統合小学校の改修計画は、現町長の公約であり、ろくに議論もされておらず、検討会委員の努力を侮辱しています。</p> <p>数億円程度との説明が、31億円以上に膨れ上がり、現板柳中学校の改築費以上の費用が掛かることには納得できない。</p>			

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
3-2	意見	当町の教育方針が町民に説明されていない。	⑤	<p>統合小学校の教育方針については、令和4年10月に板柳町立小学校統合整備審議会より提出されました答申書の内容を基本として、今後設置される予定であります統合準備委員会で検討することになります。</p> <p>答申書の中でも「小中一貫教育を推進するためには、まずその前提として小中連携教育の充実が求められるところであり、その上で、小中一貫教育へと移行することが発展的な対応と考える。」とあります。</p> <p>そのためご意見の中にあります「後退」という見方には当てはまらなないと考えております。</p> <p>たしかに小中連携教育において、小中学校が隣接しているということは大きなメリットといえます。しかし、小中学校の距離が離れた状況でも小中連携教育は可能と考えております。</p> <p>全校規模の交流は、準備等に相当な労力を割かなければならないことから、日常的には難しいと思いますが、学年単位での交流は、町のバスなどを活用して実施することは、それほど困難では無いと考えています。また、中学校の先生が小学校で授業を担当するなどの交流に関しても、教員免許などの条件に配慮する必要がありますが、2kmちよつとの距離を考えると、これも困難を伴うとは考えていません。</p> <p>板柳町として、どのように小中連携を行っていくかという構想は、まだ固まっているわけではありませんが、この距離に配慮した内容の小中連携を考えることで、十分な成果を上げることは可能と考えています。</p> <p>まずは小中連携教育を充実させ、将来的には、板柳町として小中一貫校を整備することを検討していきたいと考えます。また、小中の校舎が離れていても、一貫校として設置することも可能ですので、そのときの状況に応じて検討すべき内容と考えております。</p>
	理由	<p>小中学校では、不登校児童や生徒が増加しているとの声が、保護者から聞かれております。</p> <p>この問題に対応するために、町教育委員会では、小中一貫教育を目指していたはずですが、いつの間にか小中連携に後退しております。</p> <p>小中学校の距離が離れた状況で、はたして連携できるのか、はなはだ疑問である。</p>		

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
3-3	意見	統合小学校を板柳南小学校とした理由が納得できない。	⑤	<p>南小学校を選定した理由としましては、児童や来校者の出入りの確認、不審者等防犯対策も踏まえた場合、1階に職員室がある方が望ましいこと、既に下水道が整備済みで近くに中継ポンプがあることから、停電時でも下水道が利用可能となっており、避難所としても適応性が高いこと、スクールバスの運行を考慮した際にUターンが可能であるため、数台のバスでの児童の乗降もスムーズに行われることが期待できること、南小学校近くの旧板柳高等学校がスポーツ施設を含む複合施設として活用される予定であることから、児童地域クラブにおけるスポーツ・文化活動の場として利用しやすく、小中連携や地域連携の活性化に繋がることが期待できること等があります。</p> <p>児童数につきましては、南小学区内の児童が多いということではなく、南小学校に徒歩で通学できる児童が多いということです。国はスクールバスの運行範囲の境目を学校から約2kmの範囲としており、その範囲内に最も児童が多いのが南小学校であります。統合後は学区の境目がなくなることから、このような基準を設け算出しております。実際のスクールバスの運行範囲については、今後設置される予定であります統合準備委員会において検討いたします。</p> <p>スクールバスの範囲内に児童が多いということはスクールバスの経費の削減に繋がります。削減された経費は子どもたちや保護者への支援に活用できます。</p> <p>選定の理由について最も重要視したのが南小学校に近い距離に住んでいる児童の数ですが、様々な面から検討し、南小学校を選定いたしましたので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>沿川、小阿弥地区の児童・保護者の皆様には大変な不便をおかけいたしますが、教育委員会として様々な面での支援を検討してまいります。</p>
	理由	<p>単純に児童数の多い地域の既設小学校に統合するということは、児童数の少ない地域をないがしろにしており、沿川、小阿弥地区は不公平な扱いを受けており、断じて容認できない。</p> <p>町の中心に位置する板柳中学校の敷地内が望ましい。</p>		
3-4	意見	児童数の少ない東小学校における複式学級の解消。	④	現時点では当町において町費負担教職員についての制度が整備されておられませんので難しいと考えております。
	理由	統合小学校の開校が遅れた場合の予防措置として、複式学級解消のため、県教育委員会より派遣されている教職員以外に、町費での教職員の増員は可能か。		

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
3-5	意見	子育て世代が求める教育環境の整備。	⑤	<p>子育て世代への環境整備においては、施設面だけに限らず、様々な面から子育て世代の負担軽減のための支援を検討しなければならないと考えております。</p> <p>1学年1級については、住民説明会の際に、「26年後の2050年度には板柳町の人口が6034人と約半減する見込みであることが推定されております。そのデータをもとに児童生徒数を集計してみますと2050年には小学校が153人、中学校が83人と平均して学年別で30人未満で、各学年は1クラスずつになる見込みであります。普通教室で小学校6、中学校3とあわせて9クラスあれば間に合うことになります。」と説明させていただきました。板柳中学校の敷地内への移転ではなく、板柳中学校の校舎の規模からみると、小学校と中学校が板柳中学校の校舎で一緒に学ぶことが可能であると考えております。あくまでも可能であるという説明でありますので、決定事項ということではありません。</p> <p>人口減少については全国的な課題となっており、避けては通れない問題でありますので、今後も当町として検討していかなくてはならないと考えております。ご指摘の中に「町としての存続が難しい」とありますが、そうならないためにも、子育て支援などに町の予算を考える必要があることから、費用を抑えながらも新築に近い魅力ある統合小学校の開校のために南小学校の長寿命化改修工事を選択いたしましたのでご理解いただきたいと思っております。</p>
4-1	理由	<p>板柳中学校を中心に、統合小学校とその関連施設を整備することで、子育て世代に魅力ある環境整備が可能となり、町外からの転入者が期待できるのではないかと。教育委員会の説明では、2040年以降には児童数の減少により1学年1学級となり、統合小学校を板柳中学校の敷地内に移転可能と説明されましたが、その頃には人口減少により、当町は町としての存続が難しい状況になるのではないかと。全く後ろ向きな姿勢ではないかと。</p>		
	意見	南小学校を改築しての統合は反対です。	④	<p>統合が進み、小学校1校、中学校1校になったときに小中連携できることが様々なあると考えております。また、小中学校の施設が離れていても小中連携教育を行っている事例も多数ございます。</p> <p>今後設置を予定しております統合準備委員会において、皆様の意見を聞きながら統合後の小中連携教育の内容も含めて様々な検討して参ります。統合準備委員会で策定した計画につきましては、途中経過も含めて町民の皆様にご説明していきたいと考えております。</p> <p>当町といたしましては児童数減少や学校施設の老朽化、町財政面など様々な点から検討を重ね、板柳南小学校を長寿命化改修し基本計画（案）を策定したものでありますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。</p>
	理由	<p>小中一貫校のような形を取り、小中学校を活発に行うことで様々な効果が期待できる。</p> <p>小学校から中学校への接続がスムーズに行うことが出来る。</p>		

整理番号	提出されたご意見		対応区分	ご意見等に対する町の考え方
5-1	意見	最終決断は町民投票という形で町民に委ねるべきではないでしょうか。	⑤	住民投票の可否については今回のパブリックコメントの対象外の内容となりますので回答を差し控させていただきます。
	理由	結論が長引くようであれば、町的意思決定より町民の意見を尊重するべきだと思います。		
5-2	意見	現中学校の場所に新校舎設立をお願いしたいです。	④	ご意見の通り将来的には集約化の必要があると考えております。ただ、現在の状態で集約化を行うためにはそれなりの規模の校舎が必要となります。現在の北小学校や南小学校の規模と同じく普通教室が3クラス×6学年分の18クラス必要となる見込みです。しかし、人口の推移を考慮すると20年後には1クラス×6学年の6クラスで充分になります。12クラス分の教室については20年後には使用しない教室となります。そういった点を考慮しながら南小学校の長寿命化改修の計画を進めていきたいと考えております。
	理由	将来的に人数が減っていく中で分散する必要はないと思います。南小学校リフォームをしたとして、将来的ビジョンはどのようにお考えでしょうか。 人数が減り「集約化」するのであれば現在の中学校新校舎を中心に、子供達が集まる場所に集約化しそこから町を主体に経済を集約させたらどうでしょうか。新中学校があるのに、わざわざ分散する意味がわからない。 お金がかかろうが集約させるべきではないでしょうか。 小学校を卒業すれば中学校に進学するわけで。 そう考えるだけでも、子供達にとってはまとまりのあるほうが良いかと思えます。		
5-3	意見	南小学校リフォーム後の町の将来ビジョンを説明してほしい	⑤	南小学校の長寿命化改修が、児童の教育環境をより良いものにし、長く安心安全に利用でき、さらには町として財政面の負担を減らすことができる、子供達や町民の皆様、そして板柳町にとって一番良い選択だと考えております。 統合後は複式学級が解消されてクラス替えが可能となり、学校行事等の集団活動も活性化が図られていく中で、様々な個性を持つ仲間たちとのふれあいを通して社会性や協調性を育み、切磋琢磨しながら、心豊かに学びあえる教育活動の展開が期待されます。 また、近くの旧板柳高等学校は、スポーツ施設を含む複合施設として利活用される予定であることから、児童地域クラブにおけるスポーツ・文化活動の場として利用しやすく、町の社会体育や文化芸術活動との連携が図られることで、児童の校外での活動の活性化に繋がるものと考えております。
	理由	安い、早いでは納得できない。 現在の説明では「南小学校リフォーム」までしかみえていない。 そこが完成形ではないはず。 そこから先の展開が想像できない。 町が将来的に良い方向になるのであればそれでいいのですが。		

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
6-1	意見	小学校統合に関する考え方の見直しをもう一度。	⑤	<p>統合については平成25年度において板柳町立小学校適正規模・適正配置等検討委員会において4校を1校に統合する方針が示されました。その後も教育委員会定例会、総合教育会議等で協議し決定した結果でありますのでご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、小阿弥小学校と東小学校を先に統合するという意見ですが、2校を1校に統合しても1つの学年が1学級にしかない規模であることから、短い期間で再度統合の問題が起きる可能性があること、また、使用する校舎によっては大規模な改修が必要となることから、現時点での4校統合の方針を示しております。</p> <p>「未来の子どもへの～」についてはご意見の通りであり、当町としてはより良い学びの環境も整備しつつ、財政面で町民の負担を可能な限り軽減するべく、南小学校の長寿命化改修を選択したものであります。</p>
理由	<p>統合にする考え方は賛成できるのだが、南小学校の場所でのメリット・デメリットをもう一度考えてみるのはいかがなものか。</p> <p>現在の子ども的人数、5年後の子ども的人数を考えると、今大規模な町の予算を使うよりも、まず先に東小学校と小阿弥小学校の統合を考え、5年後以降に子ども的人数をみながら、コンパクトな小学校の建設もしくは東小学校増築という形も考えていけないのではないか。</p> <p>未来の子どもへの環境も大切だが、今暮らしている町民がより良く生きていく為にも町民の負担をできるだけ軽減する必要があると思う。</p>			
7-1	意見	南小学校在校生が北小学校に移り、2年間の卒業生が北小学校卒業となってしまう件について、卒業証書を「南小学校」または「統合後の学校名」にする意見があったが、以前の説明会では「無理でした」との回答でした。なぜ無理なのか、どのように考えているのかお知らせいただきたい。	⑤	<p>卒業証書については学校教育法施行規則上「校長は全課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与しなければならない。」とあります。北小学校の児童である以上、北小学校として卒業証書を授与しなければならないことから、卒業証書を北小学校以外の学校名で授与することは難しいと考えております。</p> <p>統合後の学校名については統合準備委員会を設置し意見を徴した上で、選定方法について検討して参ります。</p>
理由	南小学校から北小学校へ移る初年度は当然クラス替えもないと聞いています。学ぶ建物が変わるだけで北小学校卒業となってしまうことによって親も児童も誇りをもてず、履歴書には「北小学校卒業」と書かざるをえない。モヤモヤした気持ちが収まらないのではないか。統合後の学校名は「板柳小学校」一択だと思いますが？			
7-2	意見	現在の南小学校4年生～来年度入学するこどもたちの心のケアはどう考えていらっしゃいますか？	③	<p>板柳南小学校の児童や保護者の皆様には大変な不便と負担をおかけすることは重々承知しております。</p> <p>児童・保護者の皆様へのバックアップは教育委員会として全力で取り組みたいと考えております。</p>
理由	<p>在校生は南小学校で入学し、北小学校の児童になり、その後統合小学校の児童となり卒業します。校歌を3つ覚えるのですか？「どこの小学校なの？」と聞かれて何と答えるのですか？</p> <p>多感な時期です。何かしらのケアが必要と考えます。登校拒否になる児童が出る、増えるかもしれないことまで視野にいれていますか？</p>			

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
7-3	意見	エレベーターの必要性について 予算は「エレベーター含む」との記載ですが、なぜ含めての表記なのでしょう？本当に必要なのか？年間メンテナンスも予算に入れていますか？ 普段健康な児童が無闇に使用することや、非常時はどのようにお考えですか？（非常時は使えませんよね？）	⑤	エレベーターについては学校施設のバリアフリー化の促進や給食配膳の際に利用するために設置するものです。 予算の表記については、エレベーター改修工事を単独で積算しておらず、施設全体の内部改修工事の一部として工事費を積算しているため、そのような表記となっております。また本計画については改修工事に係る説明となっておりますので、年間メンテナンス費用等のランニングコストについては予算に計上しておりませんが、小学校管理費については統合で1校になることにより、管理費の削減は見込んでおります。 バリアフリートイレの配置についてはその目的として、障がい等の有無にかかわらず、誰もが支障なく安心して学校生活を送ることが出来るようにすること、また、災害時の事も考慮し1階に設置する計画としております。通常のトイレにおいても利用者に配慮した仕様とするよう考えております。
理由	資料を拝見しますと教室は3階、バリアフリートイレは1階。矛盾していませんか？ 確かにケガすることもあるでしょうし、車椅子の来客や児童もいるかもしれません。しかし教室を1階にすることや他児童で協力する等他の案は検討されましたか？			
7-4	意見	そもそもの改築予算について ゆくゆくは中学校と統合することになるとの説明がありましたが、多額の予算をかけて改築し、中学校へ統合した場合は現南小学校の建物はどうなるのですか？	⑤	南小学校を長寿命化改修した場合、耐用年数は30～40年延びると想定されますが、それでも改修後40年以上建物を使用することは難しいと考えております。 改修後30年以上経過した段階で建て替えの検討は必要になりますが、説明会では現在の中学校の教室数や構造を考慮したところ、一定の改修は必要になりますが板柳中学校の校舎と一緒に学ぶことが可能であると考えており、住民説明会でもそのように説明しました。ただ、決定事項ではなく、そのときの状況に応じて検討すべき内容と考えております。 改築予算については、子ども達に快適な学びの環境を準備し、安心安全な学校生活を送っていただくために必要な工事を検討し、計上したものであります。 当町としては未来への子どもへの環境も整備しつつ、財政面で町民の負担を可能な限り軽減するべく、南小学校の長寿命化改修を選択したものであります。
理由	安全面は第一と考えますが、長い目でみて削れる予算は削った方がいいと思います 限界まで考えてこの予算・設計なのであればその旨をもっと強調した方がいいと思います。お子さんのいないご家庭は「関わりのないことへの税金」を払うことになります			
7-5	意見	信号機の移動 信号機を町道側へ移すことにより得られるメリットがよくわかりません	⑤	小学校を統合し、1校に児童が集まることから、送迎車両等の混雑が予想されます。その対策として、国道339号と町道とのT字路交差点に感应式信号機を設置していただくよう、弘前警察署と協議を進めております。 また町道側の幅員が狭く歩道がない路線のため、歩道整備及び道路拡幅について道路管理者と取り組んでまいります。 通学路の安全面の確保や交通面については、今後町道の拡幅工事の設計時や弘前警察署との協議において慎重に検討して参ります。
理由	現在の信号を廃止することですが、現在の位置がベストな気がします。町道側へ移動すると遠周りになる児童が多く、信号無視や飛び出しを誘発しかねません。			

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
8-1	意見	中学校隣接を希望です。	④	<p>統合小学校は新たに校舎を建設することなく、現在の板柳南小学校の校舎を長寿命化改修して開校するという方針です。現在の板柳南小学校を活用する場合は、早期に小学校の統合が進められ、児童にとっても早く新築に近い快適な教育環境で学べるという利点があります。また、人口減少後の財政規模を考えたときに、新築ではなく長寿命化改修で町の支出を抑え、将来の板柳町を支える子どもたちに負担を少なくすることは、町や教育委員会として責任をもって、取り組むべきことであります。</p> <p>以上のことから統合小学校は新築ではなく、現在の板柳南小学校の校舎を改修し、開校する方針でありますので、ご理解いただきたいと思ひます。</p> <p>児童・生徒の送迎についてはスクールバスの運行を行うなど最大限配慮したいと考えております。</p>
	理由	子供達の送迎がとっても効率的です。		
9-1	意見	南小学校の改修工事に反対です。	④	<p>統合小学校は新たに校舎を建設することなく、現在の板柳南小学校の校舎を長寿命化改修して開校するという方針です。現在の板柳南小学校を活用する場合は、早期に小学校の統合が進められ、児童にとっても早く新築に近い快適な教育環境で学べるという利点があります。また、人口減少後の財政規模を考えたときに、新築ではなく長寿命化改修で町の支出を抑え、将来の板柳町を支える子どもたちに負担を少なくすることは、町や教育委員会として責任をもって、取り組むべきことであります。</p> <p>以上のことから統合小学校は新築ではなく、現在の板柳南小学校の校舎を改修し、開校する方針でありますので、ご理解いただきたいと思ひます。</p> <p>コストの面については、子どもへの教育環境も整備しつつ、財政面で町民の負担を可能な限り軽減するべく、南小学校の長寿命化改修を選択したものであります。</p>
	理由	当初は建物を有効に使用が、コスト削減で仕方無い事とあきらめていました。でも、なぜ南小学校なのか？不審に思いました。それ以降、コストの莫大との事でそれも何故そこまでして南小学校なのか！！利便性を考えると保護者の負担が多くなります。		

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
9-2	意見	中学校隣接に希望します。	④	<p>統合小学校は新たに校舎を建設することなく、現在の板柳南小学校の校舎を長寿命化改修して開校するという方針です。現在の板柳南小学校を活用する場合は、早期に小学校の統合が進められ、児童にとっても早く新築に近い快適な教育環境で学べるという利点があります。また、人口減少後の財政規模を考えたときに、新築ではなく長寿命化改修で町の支出を抑え、将来の板柳町を支える子どもたちに負担を少なくすることは、町や教育委員会として責任をもって、取り組むべきことであります。</p> <p>以上のことから統合小学校は新築ではなく、現在の板柳南小学校の校舎を改修し、開校する方針でありますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>児童・生徒の送迎についてはスクールバスの運行を行うなど最大限配慮したいと考えております。</p>
理由	<p>公平性が一番だと思います。</p> <p>又、この場所が、小中学生の子供達を持つ保護者は、効率的で安心です。</p>			
10-1	意見	板柳統合小学校を作るにあたり板柳南小学校を改修工事することに反対します。	④	<p>南小学校の選定理由については児童数の数も理由の1つであります。そのほか、校舎の規模（体育館やグラウンド等含む）が統合後の児童数に対応できること、校舎の各種調査の結果、長寿命化改修が可能である建物であること、近くに下水道の中継ポンプ場があり、災害時にも避難所として利便性を確保できることなど、様々な面から南小学校を選定しております。</p> <p>通学路の安全面の確保や交通面については、今後町道の拡幅工事の設計時や弘前警察署との協議において検討して参ります。</p>
理由	<p>児童数が多いだけで板柳南小学校にする理由には、ならないと思います。</p> <p>国道があり車の通りも多く南小学校以外の児童は不便になり、保護者の負担も多くなります。</p>			
10-2	意見	板柳統合小学校を板柳町立中学校に新築することを希望します。	④	<p>統合小学校は新たに校舎を建設することなく、現在の板柳南小学校の校舎を長寿命化改修して開校するという方針です。現在の板柳南小学校を活用する場合は、早期に小学校の統合が進められ、児童にとっても早く新築に近い快適な教育環境で学べるという利点があります。また、人口減少後の財政規模を考えたときに、新築ではなく長寿命化改修で町の支出を抑え、将来の板柳町を支える子どもたちに負担を少なくすることは、町や教育委員会として責任をもって、取り組むべきことであります。</p> <p>以上のことから統合小学校は新築ではなく、現在の板柳南小学校の校舎を改修し、開校する方針でありますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>児童・生徒の送迎についてはスクールバスの運行を行うなど最大限配慮したいと考えております。</p>
理由	<p>公平性を考えると板柳中学校に建てるべきだと思います。スクールバスの利便性保護者の負担も少なく、孫が通うことを考えると板柳中学校の方通いやすいです。</p>			

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
11-1	意見	板柳4校統合小学校には大賛成である。 南小学校を改築しての統合は大反対である。	④	板柳南小学校の長寿命化改修に伴い、教室や特別教室などの内部改修工事、トイレ改修、エレベータ整備、グラウンドの改修を行うことで、ほぼ新築に近い状態まで仕上げることが出来ると見込んでおります。 教育環境につきましては、新築だから素晴らしいということではなく、施設・設備の充実や教育内容・教育方針も含めて総合的に判断するべきものであると考えております。その意味では、施設・設備にも十分な予算を割くことが可能であるのは長寿命化改修の利点であると考えます。 統合後の教育方針等につきましては、今後設置を予定しております統合準備委員会において、皆様の意見を聞きながら様々検討して参ります。また、統合準備委員会で策定した計画につきましては、途中経過も含めて町民の皆様にご説明していきたいと考えております。
理由	町の宝である子供たちがのびのびと学べる木のぬくもりのある学校を建ててほしい。 町の将来を背負って立つ子供たちが学ぶ場所として、子供たちの将来を考えて新校舎といういい環境で学ばせてやりたい。 子供たちの教育環境を整えて、この学校で学ばせたいと思わせるような新校舎を建築する事により、板柳町に素晴らしい教育環境がある事をアピールしたい。			
11-2	意見	建築場所は中学校に隣接する場所にしたい。	④	小学校から中学校へのスムーズな進学による中一ギャップの解消については重要な問題であると認識しております。 統合が進み、小学校1校中学校1校になることで、小中連携できることが様々あると考えております。また、小中学校の施設が離れていても小中連携教育を行っている事例も多数ございます。 今後設置を予定しております統合準備委員会において、皆様の意見を聞きながら統合後の小中連携教育の内容も含めて様々検討して参ります。統合準備委員会で策定した計画につきましては、途中経過も含めて町民の皆様にご説明していきたいと考えております。 当町といたしましては児童数減少や学校施設の老朽化、町財政面など様々な点から検討を重ね、板柳南小学校を長寿命化改修し基本計画(案)を策定したものでありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
理由	小中一貫校のような形を取り、小中学生の交流を活発に行うことで様々な効果が期待できる。 小学校から中学校への接続がスムーズに行うことができ、中1ギャップ、不登校の減少につながる。 異年齢とのコミュニケーションの機会が増える。小学生の中学生へのあこがれや中学生の小さい子への思いやりが育まれる等々 人口減少に伴う一極集中化を見据えて、将来的なコストも考え、経済的な効率もよい中学校に隣接する場所に建築したい。			

整理 番号	提出されたご意見	対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
12-1	<p data-bbox="219 218 264 507">意見</p> <p data-bbox="271 218 1238 507">統合小学校の改修工事費用が新築工事費用に比べて高すぎるという理由で町議会でも当該案件が否決され、令和6年度板柳町の当該予算部分が削られたが、私自身も、改修にしては高すぎる工事費用だと考えている。町の財政負担の軽減のためにも、改修という選択をしているのだから、改修工事費用をもっと抑えることを考えなければいけないと思う。今後、学校・体育館等を30年以上使えるようにするための最低限度の長寿命化改修工事は、児童の安全安心を考えても必要不可欠だと思うが、給食棟工事・その他工事として計上している4億9990万円の費用については、工事費用が高すぎるため、工事内容を削る等の見直しが必要だと思うが、町はどう考えるか。</p> <p data-bbox="219 512 264 925">理由</p> <ul data-bbox="271 512 1238 925" style="list-style-type: none"> ・既存施設を利活用するための必要な改修工事のみを行えば良いと思うので、町の財政負担軽減のためにも、校舎棟・体育棟・給食棟等に係る必要最低限度の工事のみで良いと思うため。 ・給食棟増築工事やグラウンド改修やプール改修については、今現在、存在している既存施設（給食棟・グラウンド・プール）で十分な教育活動が行えているため。 	④	<p data-bbox="1335 218 2094 331">意見の中に「給食棟工事・その他工事として計上している4億9990万円の費用については」とございますが、給食棟・その他工事として計上している額は6億8,846万円であり、4億9,990万円は給食棟にかかる工事のみの費用となります。</p> <p data-bbox="1335 336 2094 416">理由の方で給食棟、グラウンド改修およびプール改修について述べられておりますので、その点について当町の考え方を示したいと思います。</p> <p data-bbox="1335 421 2094 534">まず、給食棟増築工事についてですが、現在の給食室は設備の老朽化や平成21年度の学校給食法改正により、現状のスペースでは統合した場合に学校給食衛生管理基準を満たすことができないため、新基準での給食室の整備が必要となります。</p> <p data-bbox="1335 539 2094 652">グラウンド改修については長年改修工事を行っておらず、砂も飛散し、砂利が見えている状態の部分も多くなってきております。多額の工事費がかかるため、今後統合が予定されているからと我慢をさせていただいてる部分であります。</p> <p data-bbox="1335 657 2094 737">プール改修については現時点でも充分かもしれませんが、今後30年以上使用することを考えると、統合小学校の改修と併せて工事を行うことが効率的であると考えております。</p> <p data-bbox="1335 742 2094 821">子どもへの環境も整備しつつ、財政面で町民の負担を可能な限り軽減するべく、南小学校の長寿命化改修を選択したものであります。</p>

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
12-2	意見	<p>統合小学校の既存施設として南小学校を選定している理由について、南小学校に近い距離に住んでいる児童数が最も多い旨の町教育委員会の説明だが、北小と南小は、学校開校時から児童数は概ね同数であり、その年度によって、若干の児童数の差があるものの、極端な児童数の差はないと認識している。仮に、南小学校を統合小学校として選定したとしても、町民の幅広い意見を聞いた上で、既存校舎の選定した方が良くと思うが、町はどう考えるか。</p>	④	<p>南小学校を選定した理由としましては、児童や来校者の出入りの確認、不審者等防犯対策も踏まえた場合、1階に職員室がある方が望ましいこと、既に下水道が整備済みで近くに中継ポンプがあることから、停電時でも下水道が利用可能となっており、避難所としても適応性が高いこと、スクールバスの運行を考慮した際にUターンが可能であるため、数台のバスでの児童の乗降もスムーズに行われることが期待できること、南小学校近くの旧板柳高等学校がスポーツ施設を含む複合施設として活用される予定であることから、児童地域クラブにおけるスポーツ・文化活動の場として利用しやすく、小中連携や地域連携の活性化に繋がることが期待できること等があります。</p> <p>児童数につきましては、南小学区内の児童が多いということではなく、南小学校に徒歩で通学できる児童が多いということです。国はスクールバスの運行範囲の境目を約2kmの範囲としており、その範囲内に最も児童が多いのが南小学校であります。統合後は学区の境目がなくなることから、このような基準を設け算出しております。</p> <p>選定の理由について最も重要視したのが南小学校に近い距離に住んでいる児童の数ですが、様々な面から検討し、南小学校を選定いたしましたので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、町民の幅広い意見を聞くために、保護者を対象とした説明会を各学校で参観日の全体会の際に行い、265人の保護者に参加いただいております。</p> <p>また、行政連絡員定例会と各学区で住民説明会を開催し、保護者と併せて延べ428人の方に参加いただきました。その他に、町内4つの保育所の保護者である283世帯へ説明会資料を配布しております。</p> <p>そして、改修計画に係るパブリックコメントの募集について4月19日から5月20日まで町HPに掲載しており、板柳町多目的ホール「あふる」でも縦覧できるように対応しておりました。</p> <p>説明会やパブリックコメントにおいていただいた意見は、必要に応じて計画に取り入れ、それ以外の意見についても今後設置する予定の統合準備委員会で参考にさせていただきます。</p>
	理由	<ul style="list-style-type: none"> ・南小学校に近い距離に住んでいる児童数が他地区に住んでいる児童数よりも多いという理由だけで、南小学校の校舎を利用することを決めるのは、少し乱暴だと思うため。 ・町の税金を使って行う事業なのだから、町民の幅広い意見を聞くのは、当然のことだと思うから。 		

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
12-3	意見	<p>学校等に隣接する道路等について、南小学校よりも北小学校の方が学校周辺から各町内へ行き来できる学校道線が多いと思う。統合小学校が開校すれば、児童数が増えるため、今以上に児童の安全への懸念や児童の送迎車両等の通行量が増えることが予想されるが、町道整備及び道路拡張工事を考えた場合でも、北小には学校に隣接する周辺の道路が多い分、今計画している予算（案）を削って、安全でかつ快適な児童等の通学路を確保することができると思うが、町はどう考えるか。</p>	④	<p>保護者説明会等で特に意見や要望の多かった南小学校の入口の混雑軽減や駐車場不足の対策として、用地拡大を予定しております。 現在南小学校は国道339号側からのアクセスのみですが、町道側に入口通路を整備して、一定の駐車スペースを確保するとともに、入り口での混雑を軽減する予定です。 そのほか送迎車両の混雑対策として、国道339号側と町道とのT字路交差点に感应式信号機を設置していただくよう弘前警察署と協議を進めて参ります。 また、グラウンド側町道（いたや荘側）の道路幅が狭いため、町道の歩道整備及び道路拡幅について道路管理者と取り組んで参ります。 児童の通学路の安全確保については、今後の設計の段階で様々調査し、慎重に検討して参ります。</p>
	理由	<p>学校に隣接する既存の町道が多い方が、児童送迎車両等の通行量の混雑を防ぐことができ、今後、道路拡張工事を行えば、更に児童等にとって安心・安全な通学路にすることができると思うため。</p>		
12-4	意見	<p>統合学校の改修について、これからの児童の教育活動を行う上で必要な建設設備を備えることは必要なことだと思うが、既存施設を利活用するのだから、学校を「新築そっくりさん」にする必要はないと思うが、町はどう考えるか。</p>	④	<p>改修の内容については板柳町立統合小学校改修計画（案）概要版に記載しておりますが、その中でも屋根屋上防水工事や外壁・外部建具改修工事などは長寿命化改修で最低限必要な工事であり、今後30年以上使用するための工事となります。長寿命化改修ではなく現状復旧の工事で費用を抑えたとしても、その工事費用については国補助金の対象とはならないうえ、10年程度でまた大規模な修繕工事が必要となり、結果として工事費用が膨らむこととなります。 また、長寿命化改修に係る工事以外についても、今後30年以上、児童が快適に学べる教育環境を整備したいという想いから、内部改修工事やトイレ改修、駐車場・通路の整備が必要であると判断しこの工事内容としました。 ご意見のとおり、「児童が安心安全で快適な教育活動をおくることのできる校舎にする」ために、必要な工事内容であることをご理解ください。</p>
	理由	<p>学校が新しい、古いということよりも、児童が安全安心で快適な教育活動をおくることのできる校舎にすることを旨として既存施設を改修してほしいから。</p>		

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
13-1	意見	板柳町立南小学校を改修しての統合には反対です。新築するべきだと思います。	④	<p>子育て世代の移住につきましては、子育て世代への切れ目のない支援を行うことで、子育て世代が住みやすい町づくりを目指しております。南小学校の築年数は40年ですが、長寿命化改修工事を行うことで新築に近い状態に仕上げることができるとともに、改修後30年安全安心に使用することが可能であります。</p> <p>南小学校を選定した理由としましては、児童や来校者の出入りの確認、不審者等防犯対策も踏まえた場合、1階に職員室がある方が望ましいこと、既に下水道が整備済みで近くに中継ポンプがあることから、停電時でも下水道が利用可能となっており、避難所としても適応性が高いこと、スクールバスの運行を考慮した際にUターンが可能であるため、数台のバスでの児童の乗降もスムーズに行われることが期待できること、南小学校近くの旧板柳高等学校がスポーツ施設を含む複合施設として活用される予定であることから、児童地域クラブにおけるスポーツ・文化活動の場として利用しやすく、小中連携や地域連携の活性化に繋がることを期待できること等があります。</p> <p>児童数につきましては、南小学区内の児童が多いということではなく、南小学校に徒歩で通学できる児童が多いということです。国はスクールバスの運行範囲の境目を約2kmの範囲としており、その範囲内に最も児童が多いのが南小学校であります。統合後は学区の境目がなくなることから、このような基準を設け算出しております。</p> <p>児童の通学路の安全確保については、今後の設計の段階で様々調査し、慎重に検討して参ります。南小学校への入り口については用地拡大を行い、国道側だけでなく、町道側からもアクセスできるように考えております。</p>
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・板柳町の人口は年々減少しています。どの地域でもそうですが、特に若い世代（子育て世代）が減少しています。新築の小学校をできるというのはそういった世代を引き寄せるアピールのひとつになると思います。どれだけ改修したところで築年数は現在の時点で築40年です。 ・説明会にも参加しましたが、北小学校ではなく南小学校を選択する理由が乏しいと思います。説明会では学区内の生徒数は南小学校の学区内の生徒が多いと説明を受けました。しかし、改修基本計画案の中の3ページ、児童数推移見込を見ると、令和12年の段階でも北小学校の学区内児童数が多いようです。であればそもそも説明会での説明が間違っており、それが南小学校を選択する理由の一つということも説得力がありません。 ・国道に面している危険であること、入口が一つしかないことなど南小学校の立地に関しても問題があるように思います。 			
14-1	意見	統合小学校の新設について、既存施設（南小）を利活用することに賛成します。	⑤	<p>統合小学校は新築ではなく、板柳南小学校の校舍を長寿命化改修して開校するという方針は、早期に小学校の統合が進められ、児童にとって、早く新築に近い、快適な教育環境で学べるという利点があります。</p> <p>また、人口減少後の財政規模を考えたときに、新築ではなく長寿命化改修で町の支出を抑え、将来の板柳町を支える子どもたちに負担を少なくすることは、責任をもって、取り組むべきことであります。令和10年4月の開校をめざして、業務を進めていきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いたします。</p>
理由	<p>町が30～40年の長寿命化改修するので、そこでは安全・安心に子供達は過ごせます。</p> <p>反対する議員は説明会での資料はお読みになったのでしょうか？</p> <p>あの資料を見て私は改めて納得できました。特に町の人口の推移をみると新設は必要なく、いずれ板中で小中一緒になるのも時代の流れだと思います。</p> <p>新設を要望している議員さんは、町の人口が増える試作、提案があるのでしょうか？</p>			

整理 番号	提出されたご意見		対応 区分	ご意見等に対する町の考え方
14-2	意見	<p>反対している議員は反対意見と同時に対案をお聞きしたかったです。 ただ、反対意見があることによって工事着工が遅くなることを懸念しています。</p>	⑤	<p>町内小学校において統合が1年延びるたびに修繕箇所は増えていきます。特に小阿弥小学校においては老朽化が著しく、統合が遅れたとしても大規模な修繕が必要となることが予想されます。当町としても修繕が必要な状態の校舎に児童を通わせ続けることはできないため、そのための費用は膨らむことになります。</p> <p>ご意見のように、統合までの期間が短い方が、児童の負担は少なくて済みますので、令和10年4月の開校をめざして、業務を進めていきたいと考えております。</p>
理由	<p>統合小学校ができるまで、南小以外の子供達は自校で過ごせますが南小の子供達は慣れない場所で過ごす時間が長くなります。 又、資料にあるように小学校の管理費も含らんで行きます。（管理費がこんなにかかっていたとは資料を見て初めて知りました。）</p>			